

平成 2 1 年度

公立大学法人首都大学東京
業務実績評価

項目別評価（素案）

項目別評価

業務実績の検証

項目別評価の実施にあたって、法人から提出された業務実績報告書等を基に検証を行った。
検証にあたっては、年度計画に記載されている各項目の事業の進捗状況及び成果等について、法人の自己評価及び計画設定の妥当性を含め総合的に行った。
検証は、法人からのヒアリングにより実施した。

業務実績の評価

業務実績報告書の検証及び特記事項等を基に、事業の進捗状況・成果を大項目ごとに1～4の4段階で評価した。

評 定	1... 年度計画を順調に実施している。 2... 年度計画をおおむね順調に実施している。 3... 年度計画を十分に実施できていない。 4... 業務の大幅な見直し、改善が必要である。
--------	--

年度計画の大項目ごとの評定及び評定説明は、以下のとおりである。

首都大学東京に関する目標を達成するためにとるべき措置
1 教育に関する目標を達成するための措置
(1) 教育の内容等に関する取組み

【入学者選抜】

評定 2 年度計画をおおむね順調に実施している。

(評定説明)

- ・「学部の入学者選抜」については、多面的な取組の結果、大学説明会には過去最高の来場者数を記録するとともに、一般入試の志願倍率が増加していることが認められる。
- ・「大学院の入学者選抜」については、前年度に引き続き、博士前期課程では一部の研究科が定員充足率を満たしておらず、また、博士後期課程においてはほぼ全ての研究科において満たしていない。志願者確保に向けた検討を望む。

【教育課程・教育方法】～学部教育における取組み～

評定 1 年度計画を順調に実施している。

(評定説明)

- ・「単位バンクシステムの導入」については、事前認定を大幅に増やすなどの改善を行ったことが認められるが、利用者数が依然として少ない。コンソーシアムを組んでカリキュラムに他大学の授業科目を組み込むなどの、制度の工夫や見直しが必要だろう。
- ・「現場体験型インターンシップの導入」については、実習先を多数確保するとともに、実習先との調整など質の向上も図ったことが認められる。
- ・「教育実施体制の整備」については、マルチキャンパスへの対応を充実させ、学生の履修ニーズに対応したほか、特に文科省の教育研究高度化のための支援体制整備事業に採択され、プロジェクト推進の一環としてe-learningやICTの活用を行ったのは、優れた取組であると認められる。

【教育課程・教育方法】～大学院教育における取組み～

評価 2 年度計画をおおむね順調に実施している。

(評価説明)

- ・「大学院教育の充実」については、大学院 GP 等に採択されるなど全学方針に基づき積極的な展開が図られており、また、一部の研究科で具体的な FD 活動など、大学院教育充実のための取組が進んでいることが認められる。

【教育の質の評価・改善】

評価 1 年度計画を順調に実施している。

(評価説明)

- ・「ファカルティ・ディベロップメント (FD) の拡充」については、セミナーを3キャンパス間で行ったこと、また、教養科目において授業評価アンケートの結果やそれによる改善事項を学生に分かりやすく伝えるために、リーフレットを発行するなど、授業評価のフィードバックに努めていることが認められる。
- ・「第三者評価の実施」については、認証評価の受審に向けたプロセスの中で教育活動の優れた点と改善すべき点を全学的に洗い出し、議論を重ねたことは有益であり、さらに一部の部局において、首都大としては初めての外部評価を独自に実施したことは、優れた取組であると認められる。
- ・「教育改革支援プログラムへの応募」については、文科省の各種プログラムに3件が採択されたことはこれまでの努力が評価された結果であると認められる。

首都大学東京に関する目標を達成するためにとるべき措置

- 1 教育に関する目標を達成するための措置
- (2) 学生支援に関する取組み

【学生サポートセンターの設置】

評価 2 年度計画をおおむね順調に実施している。

(評価説明)

- ・「学生サポートセンターの設置」については、知のキャリア形成支援委員会において、卒業生と学生との意見交換の場を提供したことは優れた取組と認められるが、同時に、様々な支援策について3キャンパスの学生が同質の支援が受けられるようにも配慮されたい。

【学修に関する支援】

評価 2 年度計画をおおむね順調に実施している。

(評価説明)

- ・「履修相談体制の整備」については、オフィスアワーの定着に向けた取組の推進が認められる。ただし、一部の学部で設定の有無が教員の自主的判断に委ねられており、一層の取組に期待したい。

【学生生活支援】

評価 2 年度計画をおおむね順調に実施している。

(評価説明)

- ・「学生生活支援」については、大学院博士後期課程の学生に対して独自の給付型奨学金を創設し、8名の学生に奨学金を給付したことが優れていると認められる。

【就職支援】

評価	2	年度計画をおおむね順調に実施している。
----	---	---------------------

(評価説明)

- ・「就職支援」については、学部卒業生の就職・進学率 95.5%を確保したほか、同窓会と共催して卒業生との交流会を実施し、さらにこれをキャリアサポート OB・OG ネットワーク構築へ発展させたことなどが積極的な取組と認められる。

【留学支援】

評価	2	年度計画をおおむね順調に実施している。
----	---	---------------------

(評価説明)

- ・「留学支援」については、国際センターの設置により、国際交流に関する情報収集や、速やかな協定締結に向けた環境整備が進み、「大学院中期相互交換留学制度」の創設などを行ったことは優れていると認められる。ただし、留学者数は依然として低く、留学制度の整備だけでなく、一般学生が留学の意義を理解し、自ら留学に挑戦する姿勢を育て、必要な力をつけるための支援が望まれる。

【外国人留学生支援】

評価	2	年度計画をおおむね順調に実施している。
----	---	---------------------

(評価説明)

- ・「外国人留学生支援」については、国際センター設置により、留学生と卒業した留学生のネットワークづくりに対する支援など、きめ細かな支援が行われていると認められるが、3キャンパスの外国人留学生が、それぞれの学習・生活環境を考慮した上で、同質の支援を受けられるようにも配慮されたい。

【適応相談】

評価	2	年度計画をおおむね順調に実施している。
----	---	---------------------

(評価説明)

- ・「適応相談」については、個別カウンセリングから予防的な講習会の開催まで、きめ細かく対応しており、また、本人のみならず教員や学生の安全という視点からの検討も行われていることが認められる。

【支援の検証】

評価	2	年度計画をおおむね順調に実施している。
----	---	---------------------

(評価説明)

- ・「定期的かつ継続的な検証」については、防犯カメラの設置や昼食時の混雑緩和への取組など、具体的に学生の要望に対応していることが認められる。

首都大学東京に関する目標を達成するためにとるべき措置

2 研究に関する目標を達成するための措置

(1) 研究の内容等に関する取組み

評価 2 年度計画をおおむね順調に実施している。

(評価説明)

- ・「研究の方向性」については、大都市問題の解決に資する研究が着実に進行しており、傾斜的研究費や、研究環の採択などを通じた支援を行っていることが優れた取組と認められる。
- ・「海外との研究機関との連携」については、都の「アジアの将来を担う高度な人材の育成」事業による留学生の受入や、「アジア人材育成基金」による研究など、全学的な取組が認められる。

(2) 研究実施体制等の整備に関する取組み

評価 1 年度計画を順調に実施している。

(評価説明)

- ・「研究環境の支援」については、国の補助事業「教育研究高度化のための支援体制整備事業」の採択による ICT 環境の整備を行ったこと、また、剰余金を活用してプロジェクト研究棟を建設し、活動が始まったことは優れた取組であることが認められる。
- ・「外部資金の獲得」については、科学研究費補助金の申請・採択件数の増加を狙いとした「研究計画調書作成マニュアル」の作成や、応募説明会・関連講演の実施、採択件数の多い教員による研究計画書の事前チェック等により、申請数・採択数・採択金額の増加につながったことが認められる。

首都大学東京に関する目標を達成するためにとるべき措置

3 社会貢献に関する目標を達成するための措置

(1) 産学公連携に関する取組み

評価 2 年度計画をおおむね順調に実施している。

(評価説明)

- ・「産学公連携の強力な推進」については、技術相談件数、受託・共同研究等件数、同受入金額などいずれも前年度に比べ増加しており、法人化以降の推移を見ても、その取組が着実に定量的な成果として現れていることが認められる。

(2) 都政との連携に関する取組み

評価 2 年度計画をおおむね順調に実施している。

(評価説明)

- ・「都との連携事業の推進」については、都への施策提案発表会を行ったことで5件の連携事業が新たに成約するなど、都政との連携に着実に取り組んでいることが認められる。
- ・「都の試験研究機関や博物館・美術館との連携」については、都立産業技術研究センターとの共同研究の推進、都の監理団体や国の機関との連携講座の実施などは積極的な取組と認められる。

(3) 都民への知の還元に関する取組み

評価	2	年度計画をおおむね順調に実施している。
----	---	---------------------

(評価説明)

- ・「生涯学習、継続学習のニーズへの対応（オープンユニバーシティ）」については、都・区市町村との連携講座や行政職員研修支援としての講座を実施するとともに、独自の単位制度を整備することで受講意欲を高めており、積極的な取組と認められる。
- ・認定看護師教育課程を開設し、28名の研修生を受け入れ修了させたことは優れた取組と認められる。

産業技術大学院大学に関する目標を達成するためにとるべき措置

1 教育に関する目標を達成するための措置

(1) 教育の内容等に関する取組み

評価	1	年度計画を順調に実施している。
----	---	-----------------

(評価説明)

- ・「専門的知識を有する学生の確保」については、AIIT 単位バンクの利用者数が大幅に増加し、履修生が正規学生として入学するなど、大学が求める人材の確保が図られたことは優れた取組であると認められる。
- ・「実践型教育の推進」については、専門職大学院としての独自性を活かした教育実践が行われており、運営諮問会議参加企業の協力によるPBL 検討部会の設置、さらにはグローバルPBL への展開など、優れた取組であることが認められる。

(2) 教育実施体制等の整備に関する取組み

評価	2	年度計画をおおむね順調に実施している。
----	---	---------------------

(評価説明)

- ・「企業や他大学との連携」については、運営諮問会議による協力・連携のもと、遠隔教育の環境整備やインターンシップを開始するとともに、さらに海外の大学との連携協定によるグローバルPBL の推進を行ったことは積極的な取組と認められる。

(3) 学生支援に関する取組み

評価	2	年度計画をおおむね順調に実施している。
----	---	---------------------

(評価説明)

- ・「学習環境の整備」については、教育研究用情報システムの更新を行ったほか、特に、秋葉原サテライトキャンパスを利用した遠隔授業の実施に向けたシステムの整備を行うなど、産技大の主たる学生である社会人への教育支援が適切に行われていることが認められる。

産業技術大学院大学に関する目標を達成するためにとるべき措置

2 研究に関する目標を達成するための措置

(1) 研究の内容等に関する取組み

評価 2 年度計画をおおむね順調に実施している。

(評価説明)

- ・「IT 及び創造技術分野における研究の推進と付加価値の創造」については、産業界との連携のもと、開発研究型 PBL の実施により商品開発につながる成果を得るなど、教育の質を高めることに直結する研究を行うという、専門職大学院のあり方に相応しい取組であることが認められる。

(2) 研究実施体制等の整備に関する取組み

評価 2 年度計画をおおむね順調に実施している。

(評価説明)

- ・「現場ニーズと最新技術の反映」については、産学共同研究プロジェクトの増加、都や他自治体との連携事業の実施、また、運営諮問会議参加企業の協力によりハイパフォーマーの行動特性データを集め、コンピテンシー測定方法を開発をしたことは優れた取組と認められる。

産業技術大学院大学に関する目標を達成するためにとるべき措置

3 社会貢献に関する目標を達成するための措置

(1) 中小企業活性化に関する取組み

評価 2 年度計画をおおむね順調に実施している。

(評価説明)

- ・「中小企業活性化に関する取組み」については、引き続き、東京都、品川・港・板橋等の各区、関係機関・団体等との連携事業を展開したほか、中小企業技術者向けの履修証明プログラムを開始するなど、中小企業活性化のための種々の事業を積極的に展開していることが認められる。

(2) 都民への知の還元に関する取組み

評価 1 年度計画を順調に実施している。

(評価説明)

- ・「都民への知の還元に関する取組み」については、AIIT マンスリーフォーラムの参加者が大幅に増加し、また、様々な自治体等との連携事業を行うなど、優れた取組であることが認められる。これらの取組が評価され、日経グローバルの全国大学地域貢献度ランキングで、大学院大学部門の全国第 1 位となった。

都立産業技術高等専門学校に関する目標を達成するためにとるべき措置

1 教育に関する目標を達成するための措置

(1) 教育の内容等に関する取組み

評価 2 年度計画をおおむね順調に実施している。

(評価説明)

- ・「実践的技術者の育成」については、希望学生全員にインターンシップを受講させるなど、充実が図られていることが認められる。
- ・「9年間一貫ものづくり教育」については、産技大と協定を締結し、連携科目を提供する接続コースを開設したことは優れた取組と認められる。

(2) 教育実施体制等の整備に関する取組み

評価 1 年度計画を順調に実施している。

(評価説明)

- ・「産業界と連携した実践教育」については、「中小企業家経営塾」や地元企業経営者等を講師とした講演会の実施など、起業家精神プログラムの着実な推進が認められる。
- ・「入学者選抜」については、入学者の住所要件緩和に伴い都外中学校へのPRに一層力を入れた結果、昨年度を大幅に上回る志願者を獲得したことは、優秀な学生の確保という観点において優れた取組と認められる。
- ・「国際化推進事業」については、ネイティブスピーカーによる少人数授業の実施や海外語学研修の実施など、高専の活性化という面で優れた取組が認められる。

(3) 学生支援に関する取組み

評価 2 年度計画をおおむね順調に実施している。

(評価説明)

- ・「学生生活支援」については、学生相談室を設置し、また相談事例をとりまとめるなど、体制を充実したほか、的確な就職支援を行うために企業による卒業生評価に関するアンケート調査を行い、企業が期待する卒業生の能力を分析するなどの客観的な課題把握への取組が認められる。

都立産業技術高等専門学校に関する目標を達成するためにとるべき措置

2 研究に関する目標を達成するための措置

(1) 研究の内容等に関する取組み

評価 2 年度計画をおおむね順調に実施している。

(評価説明)

- ・「ものづくりスペシャリストの育成に資する教育研究」及び「東京工学を基にした実践的な教育研究」については、研究推進室を設置し、特定課題研究費の傾斜配分を更に強化するなど、研究活動の活性化を進めていることが認められる。

都立産業技術高等専門学校に関する目標を達成するためにとるべき措置

3 社会貢献に関する目標を達成するための措置

(1) 中小企業活性化に関する取組み

評価 2 年度計画をおおむね順調に実施している。

(評価説明)

- ・「地元中小企業等の活性化」については、受託研究・共同研究の実施など産学公連携を推進するとともに、地元の品川区・荒川区を仲介として、教員による技術指導を含めた機器等の開放を実施するなど、中小企業の活性化に資する取組を着実に進めていることが認められる。

(2) 都民への知の還元に関する取組み

評価 2 年度計画をおおむね順調に実施している。

(評価説明)

- ・「オープンカレッジ」については、生涯学習講座のほか、小中学生を対象としたものづくり講座・ロボット講座などについても昨年度を大幅に上回る参加者を記録したことが認められる。

(3) 東京の産業を担う人材育成に関する取組み

評価 2 年度計画をおおむね順調に実施している。

(評価説明)

- ・「中小企業人材育成と若者の就業支援」については、中小企業支援のための基礎講座・出前講座、若年者就業支援に資する講座の開催等を通じ、中小企業人材育成と若者の就業支援に努めていることが認められる。

東京都立大学、東京都立科学技術大学、東京都立保健科学大学、東京都立短期大学に関する目標を達成するためにとるべき措置

(1) 教育の内容等に関する取組み

評価 2 年度計画をおおむね順調に実施している。

(評価説明)

- ・「教育の内容等に関する取組み」については、卒業に向けて必要な教育課程を保障するカリキュラム編成や、学生の希望に沿った科目の開講等を行ったほか、学部長等を中心とした履修指導、保証人に対する単位取得状況の通知等を行うなど、卒業促進のためにきめ細かく対応したことが認められる。

(2) 学生支援に関する取組み

評価 2 年度計画をおおむね順調に実施している。

(評価説明)

- ・「学生支援に関する取組み」については、引き続き就職支援、適応相談等、個々の学生の状況に応じた取組を行ったことを確認した。

東京都立工業高等専門学校及び東京都立航空工業高等専門学校に関する目標を達成するためにとるべき措置

(1) 教育の内容等に関する取組み

評価 2 年度計画をおおむね順調に実施している。

(評価説明)

- ・「教育の内容等に関する取組み」については、在学生に対し、平成 21 年度中に卒業できるようにきめ細やかな履修指導を行うとともに、卒業が危ぶまれる学生に対しては個別に適切な学修相談を実施したことが認められる。

(2) 学生支援に関する取組み

評価 2 年度計画をおおむね順調に実施している。

(評価説明)

- ・「学生支援に関する取組み」については、進学就職担当教員が学生と個別に面談し、能力・適性に十分配慮した支援を実施したことにより、5 年生の就職内定率は 100%、また、進学先決定率は 98%を確保したことが認められる。

法人運営の改善に関する目標を達成するためにとるべき措置

1 業務運営の改善に関する目標を達成するための措置

評価 1 年度計画を順調に実施している。

(評価説明)

- ・「戦略的な法人運営制度の確立」については、職員人事に関して「人材育成プログラム」に準拠した「職員研修実施計画」に基づき、各種研修が本格的に開始したこと、教育・研修事業推進のための果実活用型基金を創設したことは優れた取組である。さらに、第 2 期中期計画策定にあたり、学部長・系長懇談会など学内議論を活発化させ、基本方向の共有を図ったことは、学内対話の促進と次期中期計画の推進にとって意義があると認められる。

2 教育研究組織の見直しに関する目標を達成するための措置

評価 2 年度計画をおおむね順調に実施している。

(評価説明)

- ・「教育研究組織の定期的な見直しのシステムの確立」については、インダストリアルアート学域や観光科学域などに代表される、首都大の特色と社会的要請を踏まえた新コースの教育内容充実等を図るとともに、部局長のリーダーシップ確立に資するべく教育研究組織の適切な維持・改善を進めたことが認められる。

3 人事の適正化に関する目標を達成するための措置

評価 2 年度計画をおおむね順調に実施している。

(評価説明)

- ・「教員への任期制・年俸制の導入及び業績評価制度の適正な運用」については、昇給カーブの見直し、任期制の検証とさらなる改善に向けた検討、教員評価制度の改善、年俸水準の適正化等を進め、制度・運用のさらなる適正化に取り組んだことが認められる。

4 事務等の効率化に関する目標を達成するための措置

評価	2	年度計画を順調におおむね実施している。
----	---	---------------------

(評定説明)

- ・「情報ネットワークの整備」については、「教育研究高度化のための支援体制整備事業」に基づき、首都大学東京の教育研究活動の充実及び複数キャンパスに対応した運営体制の支援を図るための TV 会議システムを導入したことは積極的な取組と認められる。
- ・「効率的な執行体制に向けた定期的な事務組織の見直し」については、人材育成係と事務改革係を新たに設置したことが適切な取組と認められる。

財務運営の改善に関する目標を達成するためにとるべき措置

1 外部資金等の増加に関する目標を達成するための措置

評価	2	年度計画をおおむね順調に実施している。
----	---	---------------------

(評定説明)

- ・「全学的な外部資金等の獲得」については、首都大において当初計画に掲げた目標を超えて獲得した。特に、科研費の内容として、基盤研究 S や A など相対的に補助金額の大きいものについて新規採択件数が増加したことは注目に値する成果と認められる。

2 授業料等学生納付金に関する目標を達成するための措置

評価	2	年度計画をおおむね順調に実施している。
----	---	---------------------

(評定説明)

- ・「授業料等学生納付金の適切な料額決定及び確保」については、引き続き成績優秀者に対する授業料減免制度を適切に実施したことが認められる。

3 オープンユニバーシティの事業収支に関する目標を達成するための措置

評価	2	年度計画をおおむね順調に実施している。
----	---	---------------------

(評定説明)

- ・「オープンユニバーシティの事業収支」については、受講者のニーズの把握に努め、講座の充実に努めた結果、開講数・開講率・受講者数ともに過去最高となったことが認められる。

4 経費の抑制に関する目標を達成するための措置

評価	2	年度計画をおおむね順調に実施している。
----	---	---------------------

(評定説明)

- ・「契約の合理化・集約化等による管理経費等の節減」について、契約の競争性・透明性を一層高めるべく公表による契約関係の拡大を図ったほか、「省エネの徹底」について、南大沢・荒川・日野キャンパスにおいて大規模な空調設備の更新を行いエネルギー消費の削減を実現できたことなどが認められる。

5 資産の管理運用に関する目標を達成するための措置

評価 2 年度計画をおおむね順調に実施している。

(評定説明)

- ・「効果的な資産運用・資金運用」については、月々の資金収支を的確に把握し、余裕資金を安全性を確保しつつ最大限の利息収入が得られるよう資金運用したことが認められ、その結果、運用益5,000万円以上を確保した。

6 剰余金の適切な活用による戦略的な事業展開に関する目標を達成するための措置

評価 2 年度計画をおおむね順調に実施している。

(評定説明)

- ・「剰余金の有効活用」については、果実活用型基金「公立大学法人首都大学東京未来人材育成基金」の創設、給付型奨学金「大学院研究奨励奨学金」財源の積み増しのほか、プロジェクト研究棟の竣工など、剰余金を戦略的かつ有効に活用していることが認められる。

自己点検・評価及び当該事業に係る情報の提供に関する目標を達成するためにとるべき措置

評価 2 年度計画をおおむね順調に実施している。

(評定説明)

- ・「評価結果の活用」については、自己点検評価及び業務実績評価結果について学内外に公表するとともに、両評価による改善事項等に関して計画を策定し、これに基づき改善を図ったことが認められる。
- ・「第三者評価の実施」については、各学校において認証評価受審に向け、適切に取り組んでいることが認められる。

その他業務運営に関する重要目標を達成するためにとるべき措置

1 社会貢献に関する目標を達成するための措置

評価 2 年度計画をおおむね順調に実施している。

(評定説明)

- ・「産学公連携の強力な推進」については、首都大各キャンパス、産技大、高専別に配置されたコーディネータによる積極的な情報の提供やイベント開催、都市科学連携機構活動である施策提案発表会などを通じ、産学公連携活動を強力に推進したことが認められる。その結果、受託・共同研究等の件数が、前年度を大幅に上回り、法人化後の最多を記録した。
- ・「大学等との連携」については、大学コンソーシアム八王子や他大学との合同フォーラム等を通じて、大学間の連携を積極的に行ったことが認められる。

2 広報活動の積極的展開に関する目標を達成するための措置

評価 2 年度計画をおおむね順調に実施している。

(評定説明)

- ・「効果的な入試広報の実施」については、各学校において教職員が一体となって、学校訪問を含め積極的に入試広報を実施したことが認められる。

3 情報公開等の推進に関する目標を達成するための措置

評価 2 年度計画をおおむね順調に実施している。

(評価説明)

- ・「個人情報の保護に関する取組み」については、昨年度の USB メモリ紛失事故を教訓として、個人情報保護に関する教職員への意識啓発活動を継続し、USB メモリの取扱いルールを徹底し、取組を強化したことが認められる。

4 施設設備の整備・活用等に関する目標を達成するための措置

評価 2 年度計画をおおむね順調に実施している。

(評価説明)

- ・「老朽施設の計画的な維持更新」については、特に「日野キャンパス施設整備計画」の策定により老朽化施設の全面改築が実施されることとなったほか、各キャンパスにおいても外壁改修工事、空調更新工事等を着実に進めており、施設の適切な維持・改善が図られていることが認められる。

5 安全管理に関する目標を達成するための措置

評価 2 年度計画をおおむね順調に実施している。

(評価説明)

- ・「災害等に対する危機管理体制」については、法人に相応しい自律的な安全衛生管理等に関する体制の下、これらの業務が適切に実施されており、その結果、新型インフルエンザについても適切に対処することができたことが認められる。

6 社会的責任に関する目標を達成するための措置

評価 2 年度計画をおおむね順調に実施している。

(評価説明)

- ・「環境への配慮」については環境や省エネに関する学内意識を定着させるための取組を進め、また、「法人倫理」についても研究倫理やハラスメント防止に関する啓発活動を行い、社会的責任を果たすための活動を適切に展開したことが認められる。